ゆすはら・新

図書館だより

平成29年度 第3号 梼原町教育委員会 図書館チーム発行

平成30年春の図書館オープンまで早くも1年を切りました。 着々と工事が進む中、現在の図書館の設備や情報をお知らせしていきます。



「ボルダリング」とは、ロープを使わず手と足だけで 突起のついた壁を登るフリークライミング競技です。 ロッククライミングをもっと気軽に楽しめるようにし たスポーツで、年齢や性別、力があるなしに関わらず 楽しむことができます。

2020年オリンピックの新しい競技(スポーツクライミング)の種目の1つとして注目を集め、近年では都心を中心にボルダリング施設が増えています。高知県内にも2箇所施設があり、私も今度体験してみたいと思っています。

ボルダリングのある図書館は全国的にも少ないですので、町民の皆さんや町外から訪れた方にはぜひ体験してもらいたいです。もちろんボルダリングに関する本も幅広く取り扱うので、まずは図書館に足を運んでください。もしかしたら、梼原町からオリンピックに出場する選手が誕生するかも!? (奥崎)

ハッピー・リトル・アイランド/

ギリシャは2010年頃からの経済危機で3人に1人は貧しく、若者の半分は無職となった。職を失い、希望を失った「ロストジェネレーション」と呼ばれる若者たちの多くはギリシャを離れ、海外に逃れたいと思うようになる。そして一部は僅かな希望を抱き、田舎を目指して移住。人生を再出発させようと行動を始めていた。

IT関連の仕事をしていた35歳のトドリスも、不況で治安も悪化した大都市アテネが故郷とは思えなくなり彼女のアナと、どこかミステリアスなギリシャの離島、イカリア島に移住することになる。イカリア島は長寿で有名な島で、人々は幸せに暮らしているという。イカリア島の暮らしは都市生活とは全くことなり自給自足的。トドリスは畑付きの家を買い、農業を始め、島の生活に馴染もうとするが…。

監督のニコス・ダヤンダスも自らイカリア島に暮らしながら、新たな生活を始めたばかりのトドリスやアナの悩みや学びを追いかけ、どんな社会状況であるうと長寿で幸せに生きるイカリア島の老人たちの思想に迫っていく。



新しい図書館では、現代の情勢をリアルに伝える最新のドキュメンタリー映画を中心に、映画上映会を定期的に開催していく予定です。その他、大人から子どもまで楽しめる娯楽映画もご用意しますので、ぜひご家族でご利用ください。町民のみなさまの『見たい・知りたい・解りたい』に応えるためにスタッフ一同努力してまいりますので、ご意見ご要望をお聞かせ下さい。(大村)

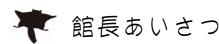
このコーナーでは、現在梼原町で文化活動に励んでおられる団体を紹介いたします。 第一回まず登場していただくのは、『ゆすはらオカリナクラブ』の皆さんです。



私たちは毎週木曜日の午前10時から、飯母ふれあいセンターで練習をしています。月に2度は高知市から先生を招いて腕を磨いています。先生の優しい人柄と愉快な仲間達のおかげで、今では鬼北町や津野町からもメンバーが集まり、男性4人を含む20人以上のグループになりました。男性4人は楽譜も読めず楽器も持っていない方がほとんどでしたが、練習の合間にお茶を飲みながらおしゃべりをしたり笑ったり、楽しい時間を過ごしているうちに、いつしか町外で発表会に参加するまでになりました。いつでもどなたでも、見学、入会歓迎しますので、お気軽にお越しくださいね。







そよ風が気持ちよい季節になりましたね。皆様、いかがお過ごしでしょうか?私はこの度、来年完成予定の新図書館の館長に任命されました、見目佳寿子(けんもくかずこ)と申します。開館まで1年を切ったこの時期、従来の図書室だよりをパワーアップして新図書館のPR誌を刊行することに致しました。今後続々と館内設備の紹介をして参りますので、どうぞお楽しみに!

私は京都で生まれ育ち、町の図書館で本を借りて読書することに親しむ幼少期を 過ごしました。小学校の下校時には、友達と一緒に本を読みながら歩いたものでし たが、今思えばとっても平和でのどかな時間でした。

山や川を大事に守ってきた梼原の人々の心を耕し、その伝統と自然を愛する心を将来世代に受け渡していくことが図書館の責務であることを考えると、まず地域の活動を盛んに行える場、町民の皆様にとって使いやすい場、時代の移り変わりに柔軟で自由な場であることが必要です。7世代先、約200年後の子孫のために環境を守る思想を持っているネイティブアメリカンの人々のように、日本人は自然に溶け込む形で精神を大事にする装置を神社やお寺として作ってきました。梼原町の図書館も皆様一人ひとりが通いやすく、訪れた人の心が晴れやかになるような場所でありたいと思います。(見目)